

岡山県感染症週報

2011 年 第 29 週（7 月 18 日～ 7 月 24 日）

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。**◆2011 年 第 29 週（7/18～7/24）の感染症発生動向（届出数）****■全数把握感染症の発生状況**

第 27 週 2 類感染症 結核 2 名（70 代 女 1 名、80 代 女 1 名）

第 28 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名（70 代 男）

第 29 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名（O26 生徒 男 1 名、幼児 女 1 名）
の報告がありました。**■定点把握感染症の発生状況**

○手足口病は第 27 週から減少傾向にあり、今週は大幅に患者数が減りました。

発生は減少したものの、全県では感染症発生レベル3 が継続しており、患者数が多い状態が続いています。岡山県では注意喚起を行い、早めの受診を呼びかけています

○ヘルパンギーナは全県で減少しました。しかし岡山市では感染症発生レベル 3 が継続しています。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年は 7 月 29 日までで 31 名の発生がありました。例年 8 月は 1 年のうち最も発生が多くなりますので、これからの時期は特に感染予防に努めて下さい。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。なお、これまでのところ県内では、溶血性尿毒症候群（HUS）など、重症例や死亡例の報告はありません。
県内の発生状況・症状・感染予防などについては感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中！』](#)をご覧ください。
2. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、今週大幅に減少し（定点あたり 8.26 → 5.46 人）、第 27 週から 3 週連続で減少しました。発生は減少したものの、県内全体では大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる感染症発生レベル3 が継続しています。
手足口病についての詳しい症状、予防法については、感染症情報センターホームページ [『【注意！】手足口病が流行しています！』](#)をご覧ください。
3. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は、全県で減少しました（4.26 → 3.83 人）。しかし、岡山市では感染症発生レベル3 が継続しており（9.07 → 8.14 人）、定点医療機関からの報告数の半数を占めています。
手足口病、ヘルパンギーナの今週の動向については、**『今週の注目感染症』**をご覧ください。
4. **流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）**は減少しましたが（1.63 人 → 1.46 人）、今年は発生の多い状態で推移しています。倉敷市では他の地域より発生が多く、感染症発生レベル2 の状態が続いています。（定点あたり 3.00 人）。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★★★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	日咳		
ヘルパンギーナ		★★★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

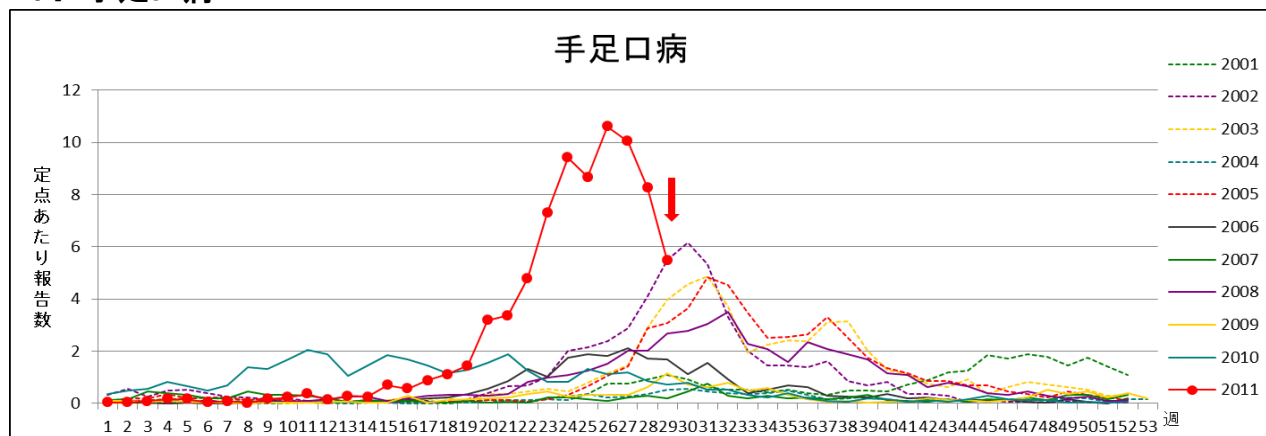
前週からの推移：  2倍以上の減少  1.1～2倍未満の減少  1.1未満の増減
 1.1～2倍未満の増加  2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. 手足口病



手足口病の定点あたり患者数は大きく減少し（446 → 295人 定点あたり 8.26 → 5.46人）、第27週から3週連続で減少しました。真庭・美作地域では5月中旬から続いていた感染症発生レベル3がレベル1になりました。しかし、いまだ患者は例年より多く、岡山市（15.36 → 10.36人）、備中地域（6.57 → 7.00人）、倉敷市（8.55 → 4.27人）では発生の多い状態がつづいており、全県では感染症発生レベル3が継続中です。患者発生は多いものの、岡山県ではこれまでのところ、無菌性髄膜炎・脳炎などを合併した重症例の報告はありません。

患者の年齢は3歳以下がほとんどですが、流行が拡大するにつれ、4～6歳の患者割合が増加しています。手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

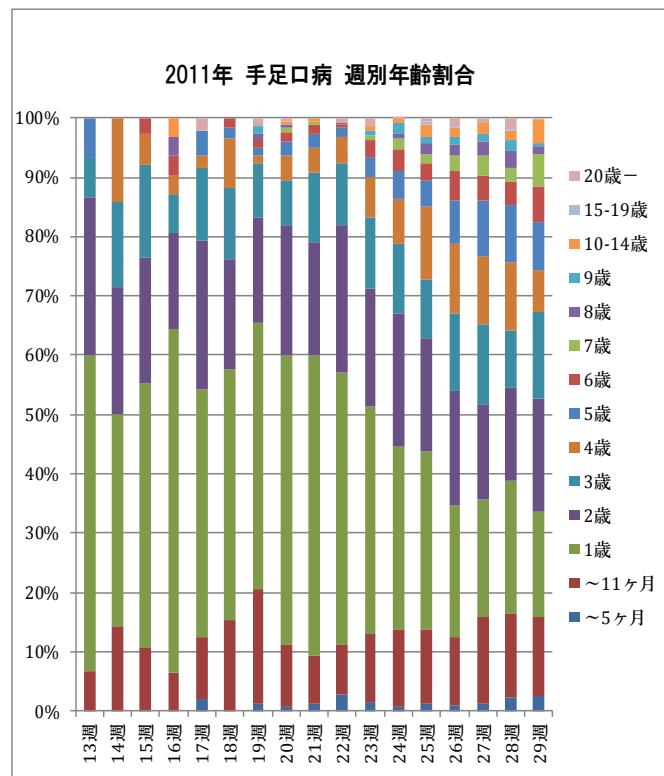
岡山県では手足口病患者より採取された咽頭拭い液13件（3月1件、4月2件、5月2件、6月8件）から**コクサッキーウイルス A6型**が検出されました。全国的にも手足口病患者から主にコクサッキーウイルス A6型が検出されています。

本年の手足口病は、高熱をともなうことがあり、発疹が従来と比べ大きく、四肢末端に局限せず広範囲に認められるという臨床現場からの報告があります。

（[国立感染症研究所 感染症情報センター 週報第27週（全国版）](#)、[岡山市の医療機関からの報告](#)）

手足口病の症状、感染予防など詳しいことについては、岡山県感染症情報センターホームページ

『**注意！ 手足口病が流行しています！**』をご覧ください。



感染症マップ 手足口病 2011 年 29 週



29 週 7/18～

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5 未満	0

28 週 7/11～

27 週 7/4～

26 週 6/27～



全県レベル3

25 週 6/20～



全県レベル3

24 週 6/13～



全県レベル3

23 週 6/6～



全県レベル3

22 週 5/30～



全県レベル3



全県レベル3



全県レベル3



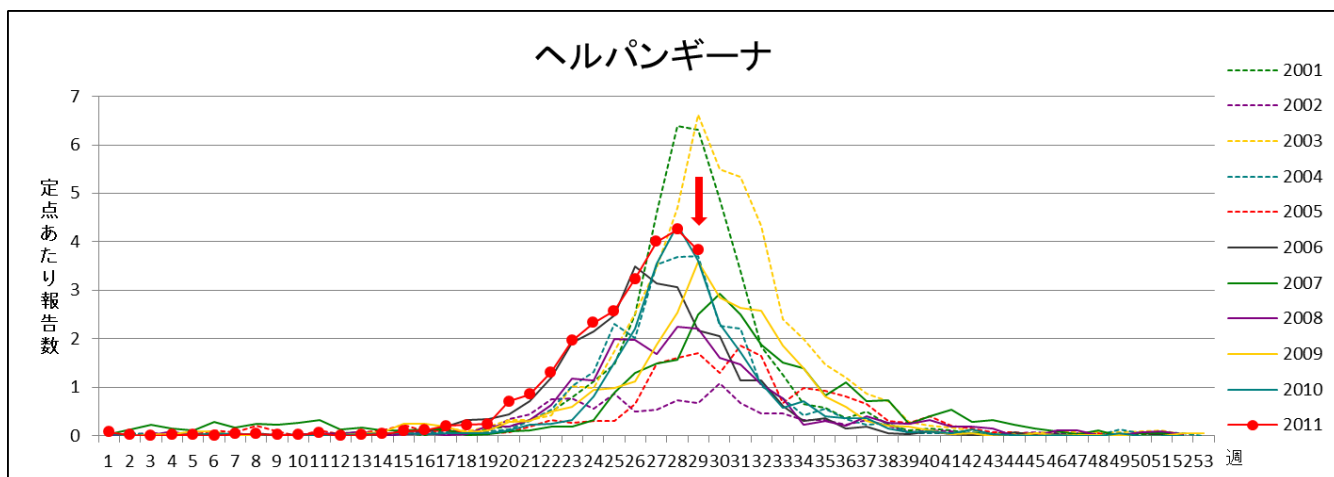
全県レベル1

2. ヘルパンギーナ

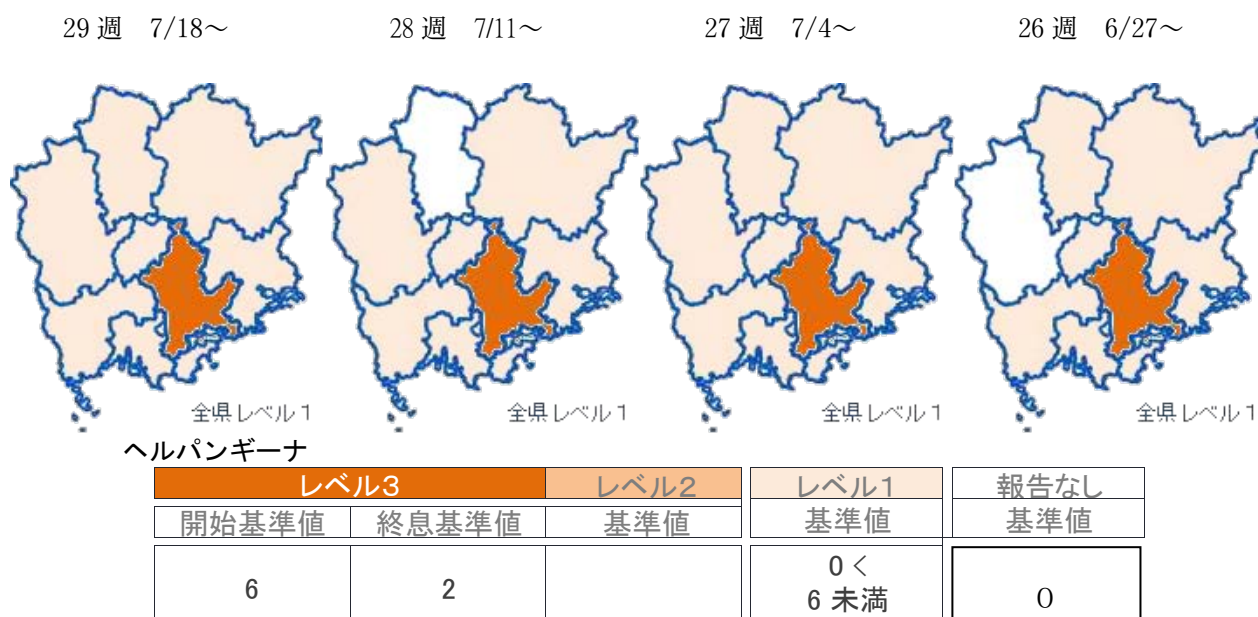
ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数は全県で減少しました（230 → 207 人 定点あたり 4.26 → 3.83 人）。しかし岡山市（8.14 人）・倉敷市（5.64 人）では発生が多く、岡山市では県内患者数の半数を占めており、感染症発生レベル 3 が継続しています。

ヘルパンギーナは、夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。患者の年齢は 3 歳以下の幼児が中心で、全体の 60% を占めています。症状は、突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径 1～2mm の小水疱が出現するのが特徴です。口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、食べ物や水分の摂取ができにくくなり、脱水症につながる場合がありますので 8 月の暑い時期は特に注意が必要です。

岡山県ではヘルパンギーナ患者の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。



感染症マップ ヘルパンギーナ 2011 年 29 週



コクサッキーウイルス A6 型は、全国的には、これまでヘルパンギーナ患者から検出される例が多く報告されてきましたが、最近では手足口病患者からの検出報告が増加しており、今年も手足口病患者からの検出報告が大部分を占めています。

詳しくは、**国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報** をご覧ください。

今年のコクサッキーウイルスA6 型検出状況 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-tj.html>

2007-2011 の手足口病からの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf>

2007-2011 のヘルパンギーナからの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data38j.pdf>

- 夏に流行する手足口病・ヘルパンギーナの患者数は減少しはじめていますが、例年より多い状態が続いています。
- 症状が治っても、便の中には2～4週間ウイルスが排泄されることがあります。うがい・手洗いを励行し、おむつや便の取り扱いに注意して、感染予防と拡大防止に努めましょう。
- 体調を崩しやすい時期ですので、お子さんの体調の変化に注意して早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数

において

数字

は感染症マップにおいて レベル3

数字

は感染症マップにおいて レベル2

を示しています

保健所別報告患者数 2011年 29週 (2011/07/18～2011/07/24)

2011年7月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	1	0.02	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	24	0.44	11	0.79	8	0.73	—	—	—	—	—	—	—	—	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.26	7	0.50	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	1	0.50	—	—
感染性胃腸炎	186	3.44	40	2.86	49	4.45	49	4.90	12	1.71	17	4.25	1	0.50	18	3.00
水痘	41	0.76	15	1.07	11	1.00	9	0.90	1	0.14	1	0.25	—	—	4	0.67
手足口病	295	5.46	145	10.36	47	4.27	31	3.10	49	7.00	10	2.50	2	1.00	11	1.83
伝染性紅斑	8	0.15	8	0.57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	24	0.44	12	0.86	3	0.27	3	0.30	3	0.43	—	—	—	—	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	207	3.83	114	8.14	62	5.64	10	1.00	11	1.57	1	0.25	1	0.50	8	1.33
流行性耳下腺炎	79	1.46	16	1.14	33	3.00	12	1.20	15	2.14	—	—	—	—	3	0.50
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	7	0.58	3	0.60	2	0.50	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	—	—	4	4.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 29週 (2011/07/18～2011/07/24)

2011年7月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	24	0.44	11	0.79	8	0.73	—	—	—	—	—	—	—	—	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.26	7	0.50	3	0.27	1	0.10	2	0.29	—	—	1	0.50	—	—
感染性胃腸炎	186	3.44	40	2.86	49	4.45	49	4.90	12	1.71	17	4.25	1	0.50	18	3.00
水痘	41	0.76	15	1.07	11	1.00	9	0.90	1	0.14	1	0.25	—	—	4	0.67
手足口病	295	5.46	145	10.36	47	4.27	31	3.10	49	7.00	10	2.50	2	1.00	11	1.83
伝染性紅斑	8	0.15	8	0.57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	207	3.83	114	8.14	62	5.64	10	1.00	11	1.57	1	0.25	1	0.50	8	1.33
流行性耳下腺炎	79	1.46	16	1.14	33	3.00	12	1.20	15	2.14	—	—	—	—	3	0.50
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	7	0.58	3	0.60	2	0.50	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第29週 2011/07/18～2011/07/24)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	24	-	-	4	5	6	4	1	-	-	2	2	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	-	-	-	1	3	-	3	2	2	1	-	2	-
感染性胃腸炎	186	2	17	27	21	14	13	7	14	14	9	6	20	3
水痘	41	-	4	6	8	5	4	9	2	-	1	1	1	-
手足口病	295	7	39	52	55	43	20	24	17	16	4	2	11	-
伝染性紅斑	8	-	-	1	1	-	1	3	-	-	1	1	-	-
突発性発疹	24	-	14	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	207	2	25	51	34	28	22	13	11	8	4	2	4	2
流行性耳下腺炎	79	-	-	4	11	10	16	10	8	7	2	3	7	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	1	-	-	-

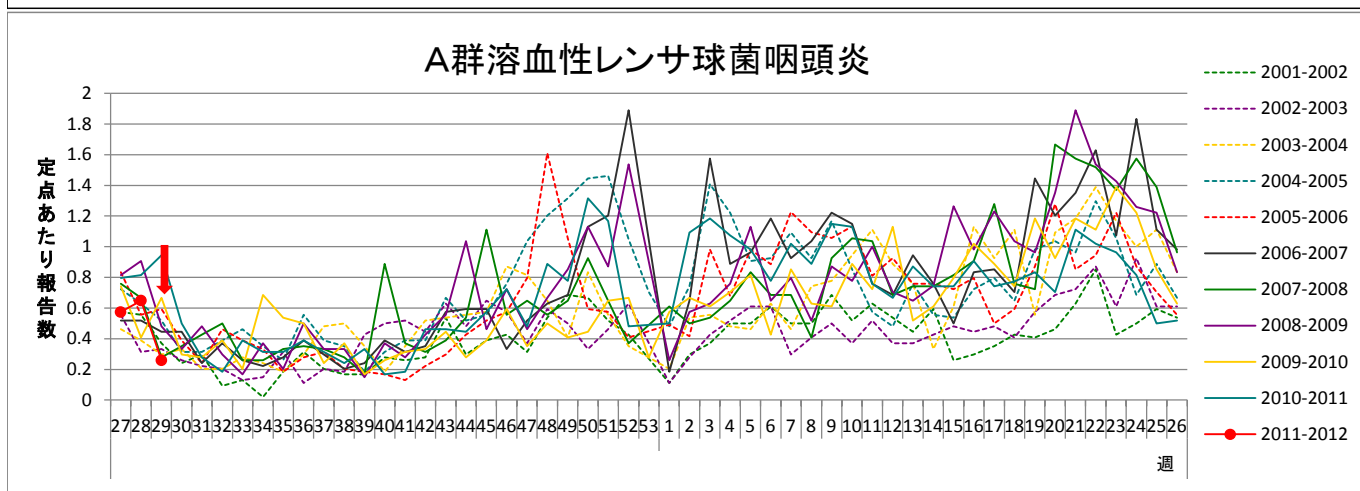
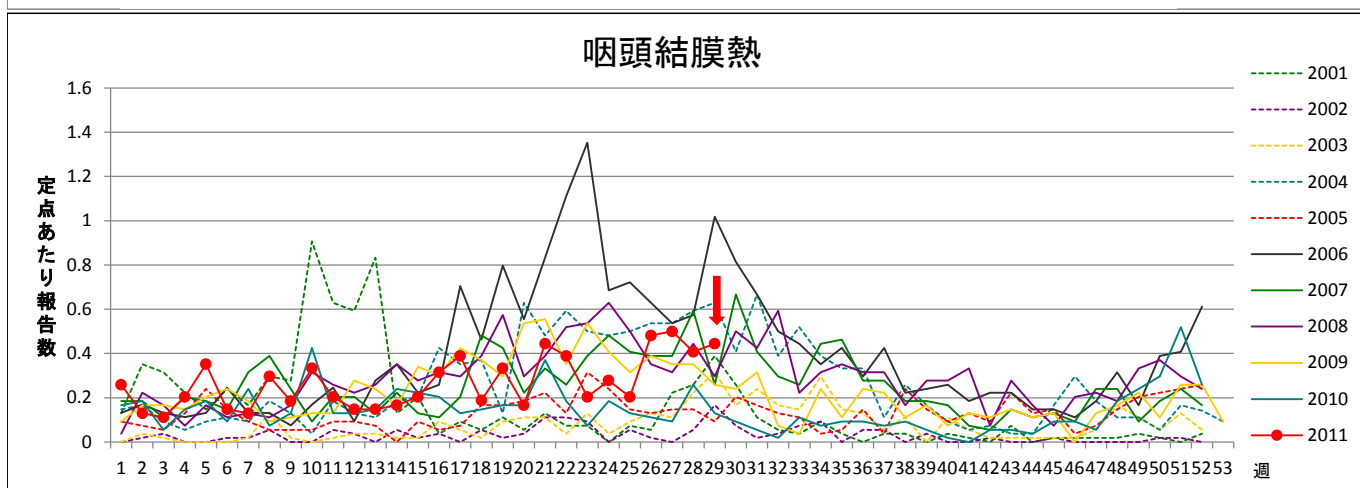
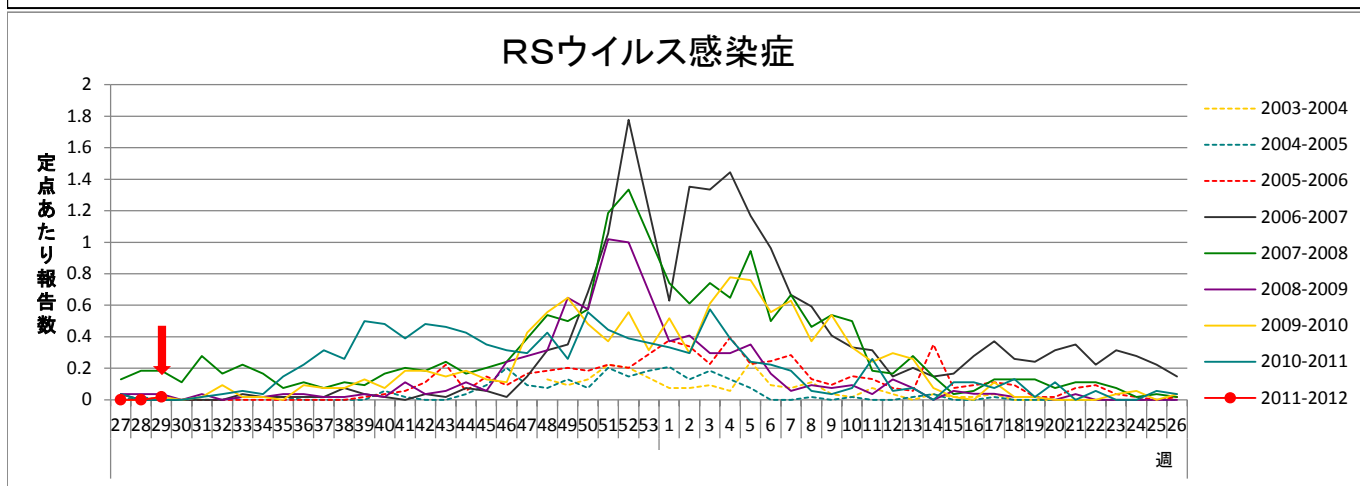
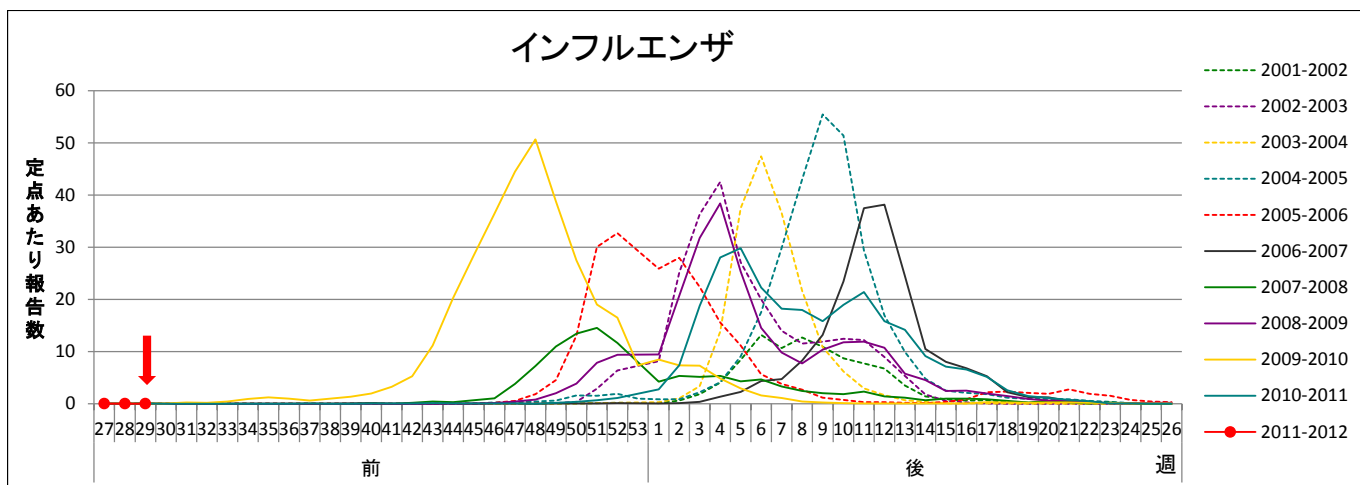
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

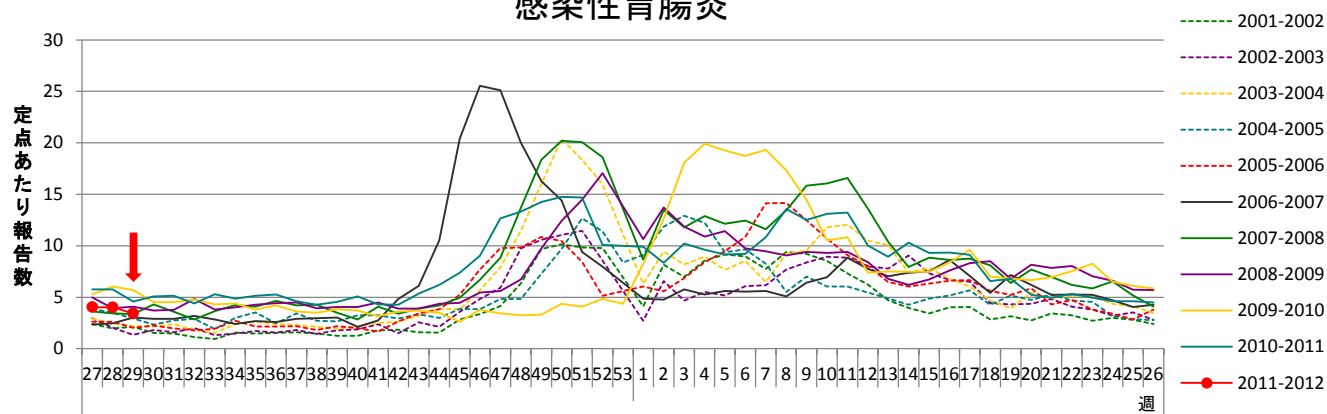
全数把握 感染症患者発生状況

2011 年 29 週

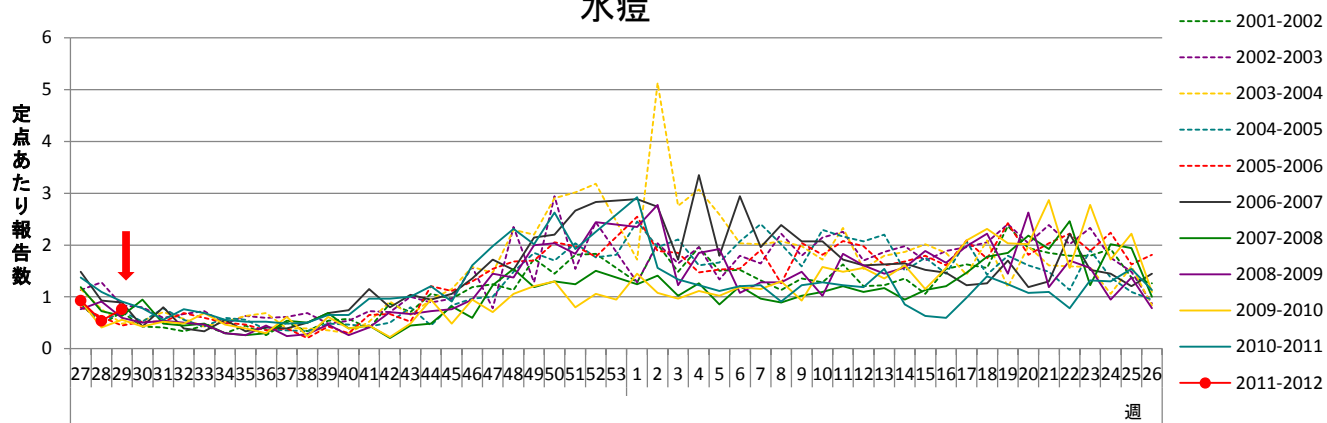
分類	疾病名	2011			2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病	-	-
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	261	352	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-		-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	28
	腸チフス	-	-	-		-	-	-		-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 西部ウマ脳炎 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 日本脳炎 Bウイルス病 ベネズエラウマ脳炎 ボツリヌス症 ライム病 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱	-	2
	エキノкокクス症	-	-	-		-	-	-		-	-
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	Q熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	サル痘	-	-	-		-	-	-		-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	つつが虫病	-	2	1		-	-	7		-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-		-	-	-		-	-
	日本紅斑熱	-	1	-		-	-	-		-	-
	鼻疽	-	-	-		-	-	-		-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	1
	マラリア	-	-	-		-	-	-		-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	-
	レジオネラ症	-	9	19		-	-	-		-	-
五類	アメーバ赤痢	-	6	13	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 梅毒 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	3	7	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 髄膜炎菌性髄膜炎 破傷風 風しん	-	-
	クリプトスポリジウム症	-	-	-		-	1	2		-	1
	後天性免疫不全症候群	-	4	22		-	1	5		-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-		-	6	9		-	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-		-	-	3		-	-
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-



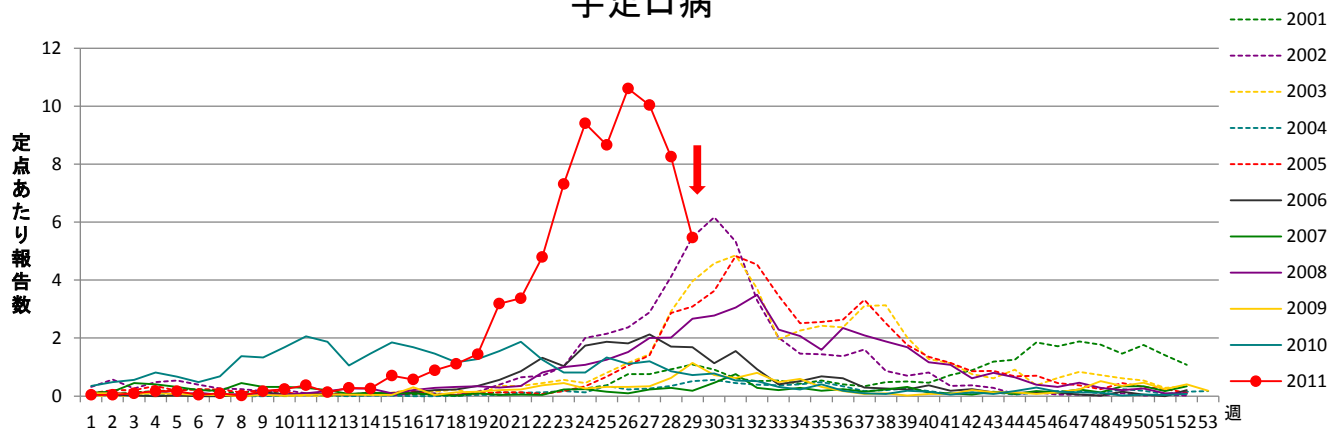
感染性胃腸炎



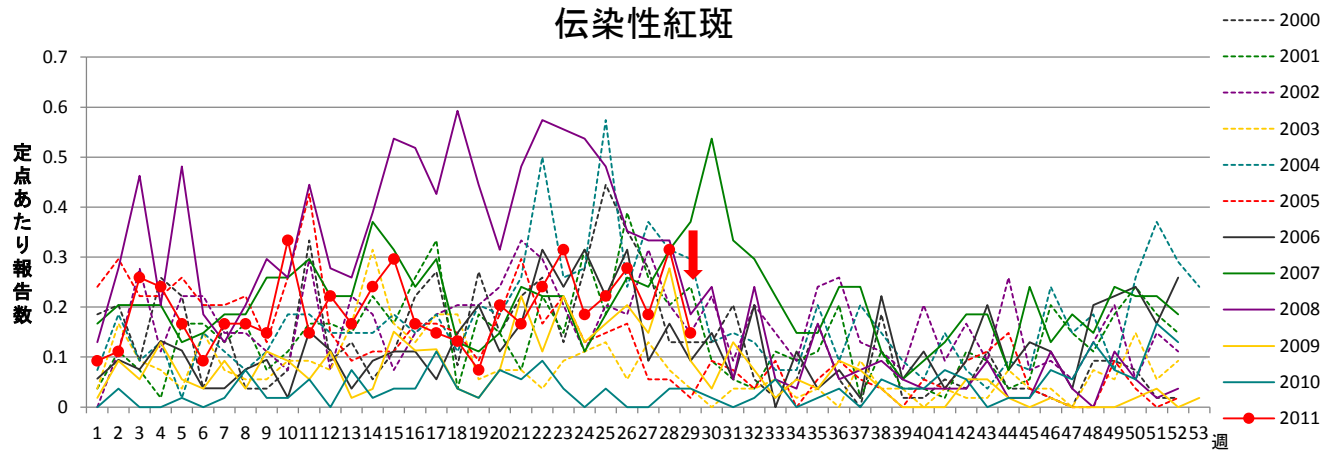
水痘



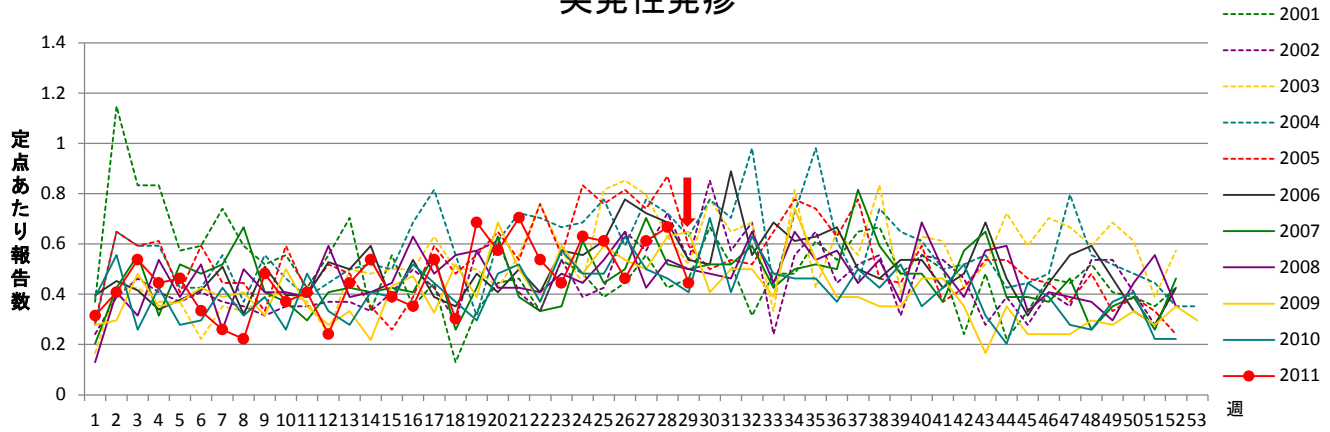
手足口病



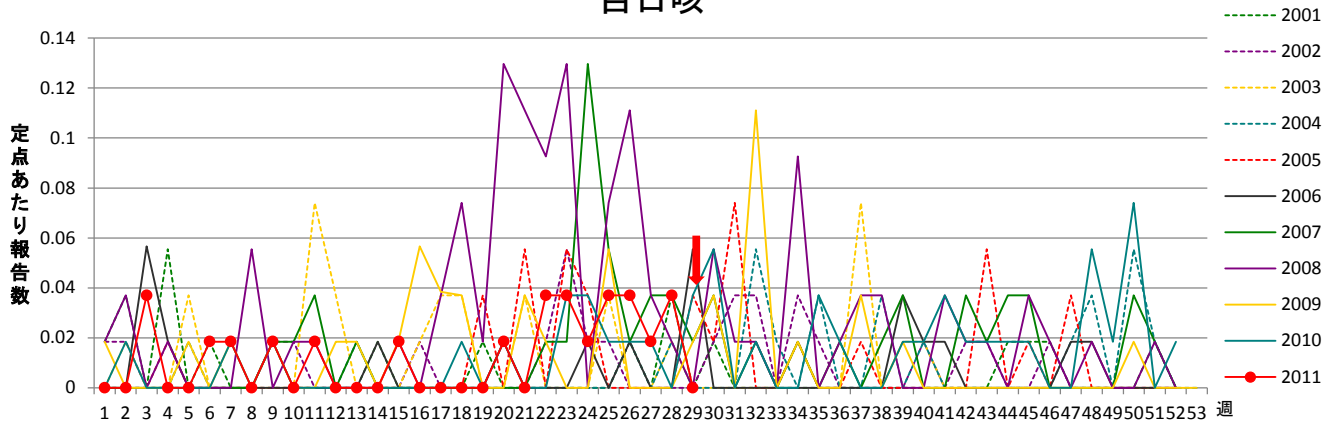
伝染性紅斑



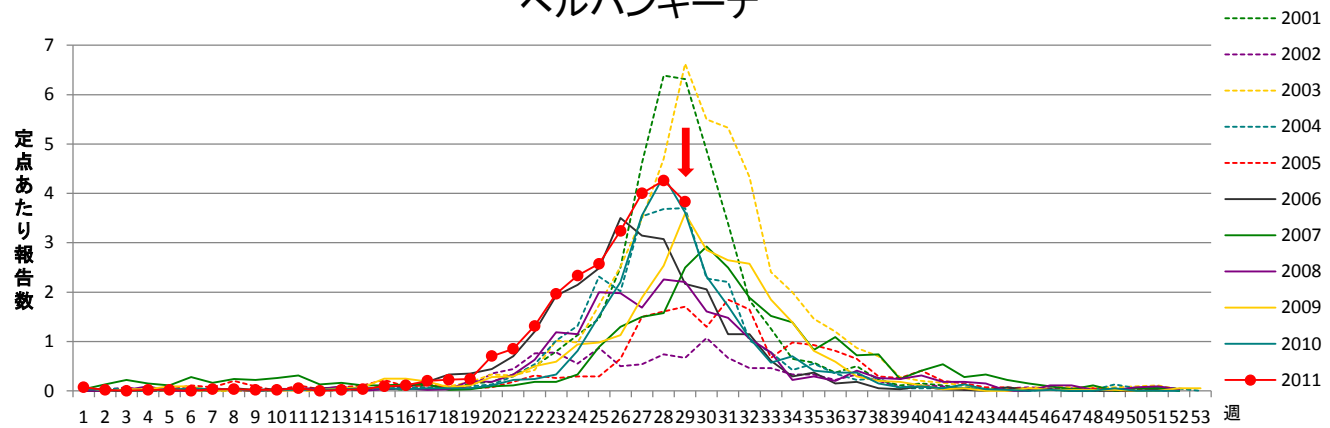
突発性発疹



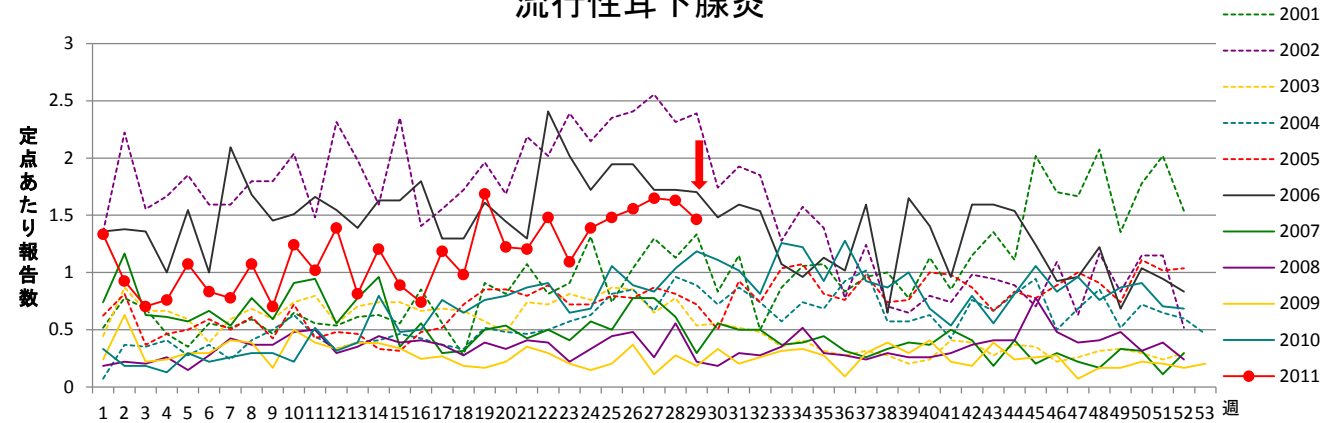
百日咳



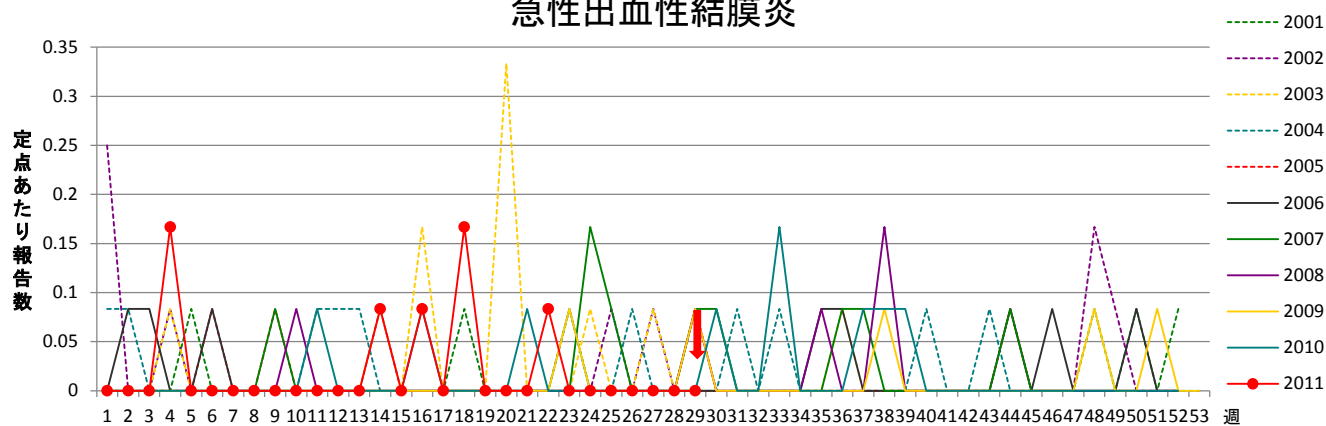
ヘルパンギーナ



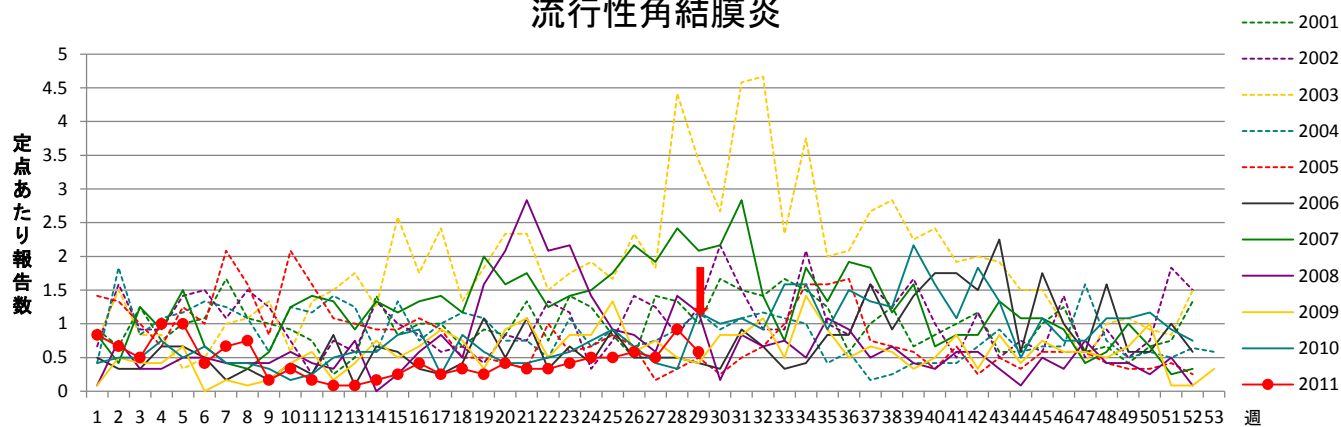
流行性耳下腺炎



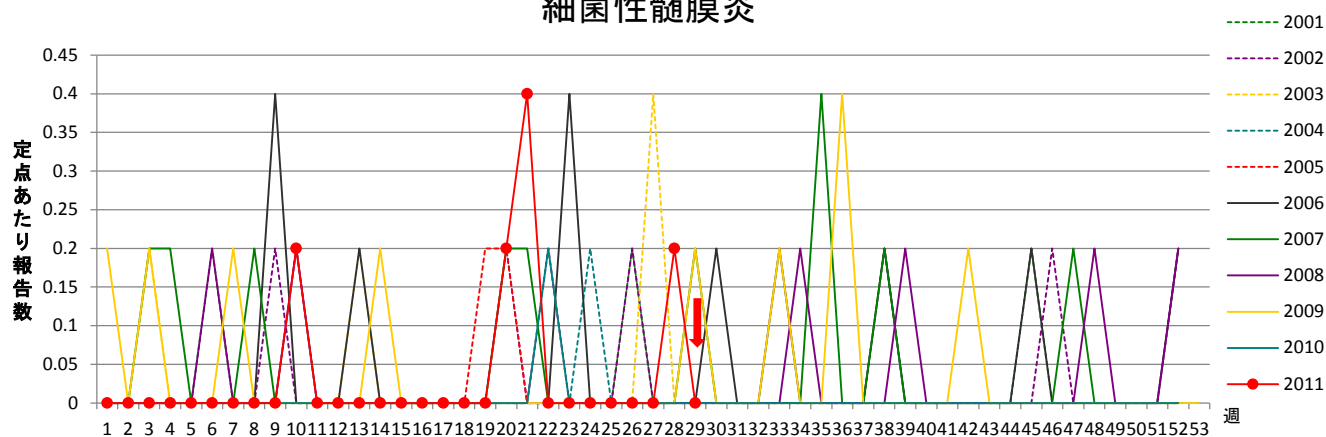
急性出血性結膜炎



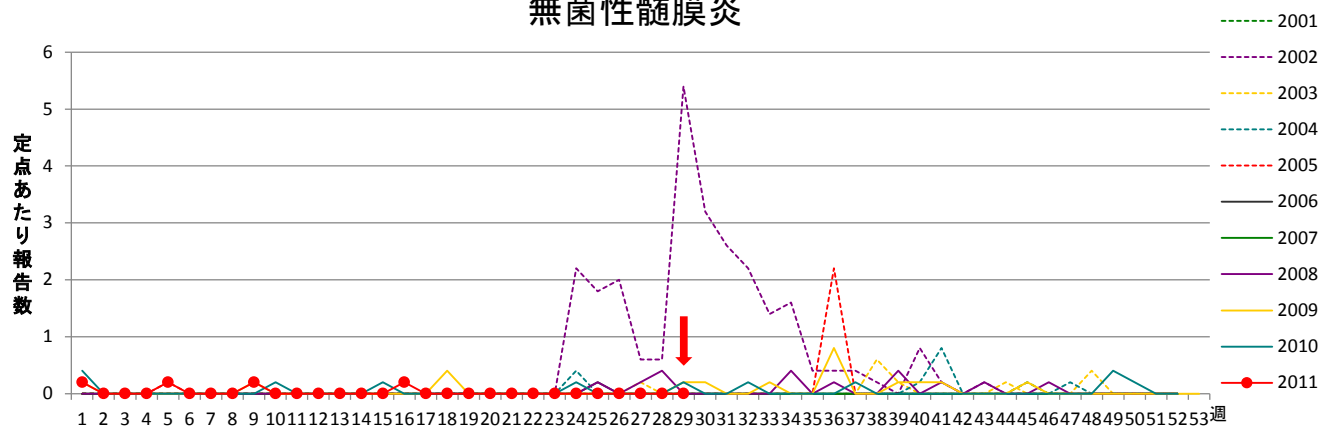
流行性角結膜炎



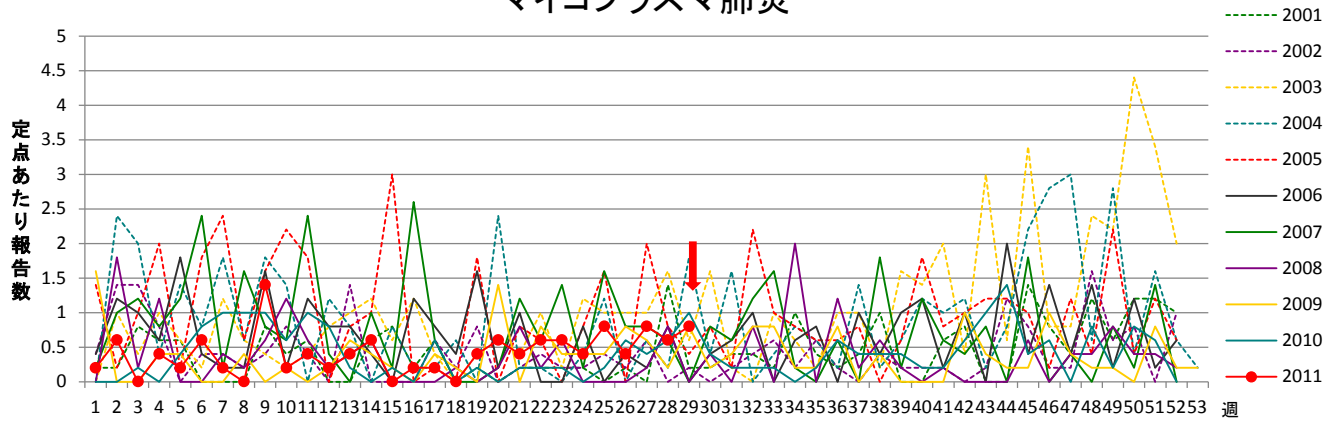
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

